

* 凛(りん)として自分のために！ * 輪(りん)として仲間のために！ * 鈴(りん)として社会のために！

～令和2年も…♪ 笑門来福 ♪♪で…！～

令和も2年目に入り、穏やかな新年の幕開けとなりました。
今年も“笑う門には福来る”の言葉通り、いつも笑顔で暮らしていけたら…と思い、『笑門来福』のこぼを年頭に上げてみました。
辛いこと・悲しいことも時にはあるかもしれませんが、それでも「楽しいこと探し」をしながら皆さんといっぱい笑って、一緒に過ごせたらいいな～と思っています。
無理せず程ほどに、少し頑張りながら、ゆっくり…今年も『RinRin&CoCoRin』と一緒に!!

* 1月～3月のりんりんイベント情報 *

● 1/18(土)定例茶話会

* 10:00～12:00 * 大崎市民病院 3階会議室

★情報交換会・交流会 * テーマ：再建について

※お困りのこと・最新情報など、一緒にお話ししましょう♪
再建のことに限らず、その他の話題でも皆さんと一緒に情報交換できます。

● 2/22(土) CoCoRin 企画 講話&相談会

* 10:00～12:00 * 大崎市民病院 9階会議室

★こころん(20代～40代・女性の患者様対象)

※講師に臨床心理士様(大崎市民病院)をお迎えしての勉強会、医療スタッフとの相談会・情報交換会です。部位や通院場所(病院)の限定はありませんので、お気軽にご参加ください。

● 3/14(土)パッド作り講習会&販売会

* 10:00～12:00 * 大崎市民病院 9階会議室

● 講師：りんりんハンドメイド倶楽部

※安価で自分に合う&簡単に作れる補整用パッドを仲間と一緒に作ってみませんか？実際にお気に合うものを手に取って確かめることも出来ます。(在庫品お分け可能です)

～初めてご参加される方へ～

- ★お飲み物は各自ご持参ください。
- ★参加費：会員 300円(会員以外 500円)
- ★日程・内容・開催場所などについては変更もありますので、大崎市民病院 HP、又は、りんりんの会ブログ/ツイッター・がんサロン等でご確認ください。
- お話しすることで気持ちが軽くなることもありますよ。

～りんりん会報に寄せて No.41～

2019年 With You 東北

大崎市民病院 乳腺外科科長 吉田 龍一

With You は、全国各地で開催される乳がん患者と医療者がお互いに考えていることを知るという目的の交流の場として、2002年東京から始まりました。With You 東北は年1回仙台で開かれますが、今年は12月1日に仙台国際センターで開催されました。

今回は第8回になりますが、企画の段階で例年マンネリ化していること、事務局と関係医療者の負担が増大し疲弊していることを鑑み、前回から当番を決めて企画することいたしました。今回は、私と石巻赤十字病院の古田先生、仙台医療センターの渡邊先生が当番となり企画しました。今後のWith Youのあり方を考えれば、ピアサポーター、つまり患者さんを主体とした会にすべきだと3人の意見が一致し、そのためにはピアサポーターと、患者会の育成が必須との考えで、今回、企画の段階から各病院の患者会、りんりんの会、パセリの会、プリティふらわあの会の代表の方に入って頂きました。

その結果、「かがやけ 患者力！こころひらいて響かせよう、私の声」というテーマを掲げました。参加人数はまだ公表されていませんが一般患者さんが約140人、ピアサポーターを入れれば約180人くらいと聞いています。今年は申込み受付をしませんでした（申込み受付が最も大変な作業で負担大）ので何人くらい来るのか予想できませんでしたが、例年通りの参加者数だったのでホッとしています。

内容は、まず、乳がんサバイバーとして活躍中の桜井なおみさんの講演をしていただくことになっていましたが、実はこのとき予想外のことが起こりまして、講演時間になっても桜井さんが会場に着いていませんでした。スタッフで協議し急遽、後で行われるはずだった乳がん最新情報を東北大学の原田成美先生に講演して頂きました。結果的に、乳がん最新情報を最初に持ってきたのは皆さんの関心を引くのによかったと思っています。一時はどうなるかと思いましたが、その間に桜井さんが到着し無事講演をされました。

桜井さんには、「みんなで創る、がん共生社会～地域の医療を支えるために～」というテーマで講演を頂きました。その中で、特にサバイバーシップの大切さ、患者を孤立させないことの重要性を熱く語って頂き、改めて患者会の重要性を認識させられました。アフラックと共同で作成したという tomosnote(トモスノート)の動画は感動的で、参加者にも涙している方がいました。

講演直後、短時間ではありましたが、私が司会で各患者会の代表者と桜井さんを交えて患者会の問題点を掲げながらディスカッションをしました。どの患者会も会員を増やしたいと思ってもなかなか増えないことが悩みの種のようなものでした。また、近くに患者会があればと思っている方は大勢いると思いますので、ぜひ、りんりんの会をはじめお近くの患者会に行ってみてくださいということで締めくくりました。

会場の後方には各患者会や術後の補整用具や下着、ウィッグなどの業者さんのブースがさながらお祭りの屋台のように並び、たくさんの方が覗いていました。

休憩時間を挟んで、例年通りの何でも質問コーナーとグループワーク、そして新しい企画として当日限りの患者会、やさしいイスヨガがピアサポーターの方々に企画されました。グループワークはピアサポーターを配置し、細かいテーマを決めずにその場で出た話を膨らましていく企画としたのですが、人前でしゃべるということに抵抗があるのでしょうか、参加者は例年より少なかったようです。というより、イスヨガが大盛況だったようで、そちらに参加者が流れたようでした。私は、当日限りの患者会に参加していたのですが、患者会に行っても同じメンバーしかいない、どうしたら増やせるかというような内容が多かったように思います。いろいろ聞いてみると、りんりんの会の活動がいかに素晴らしいかよくわかりますし、みなさん同じような悩みを話していたので、やはり患者会は大切だしそこに参加することで救われる方が大勢いるんだと実感しました。

最後はまた新しい企画で、りんりんの会でも何度か行っている語りと演奏会です。りんりんの会ではおなじみのバイオリニストの池田さんの紹介で、チェリスト加藤皓平さんとピアニストの岩本由佳さんの演奏、そして我がりんりんの会会員（サバイバー）の朗読です。患者さんの想いを朗読したのですが、病気になっても自分らしく生きるという前向きな気持ちが伝わり、とても勇気づけられたのではないかと思います。また、チェロって素敵な音色だとつくづく思いました。

全体を通して、医療者と患者の間にはいろいろなことでギャップはあるけれど、思いは同じなんだと感じました。

以上、第8回 With You 東北について報告しましたが、読んでも雰囲気とかよくわからないと思います。詳細については、ぜひ定例会などで参加した人から話を聞いてみてください。そして、来年も患者さん主体で開催します。興味を持った方は来年12月6日（日曜日）に開催しますので是非参加してみてください。そして、自分だけじゃないんだということを実感してみてください。

【りんりん相談室】：毎月第4水・13:30～16:00 大崎市図書館2階 研修室にて開催中
内容：おしゃべり会・相談会・パッド作り講習会・Tシャツ帽子作製講習会など。身近な情報や体験談など、同じ仲間として共有出来る場です。りんりんスタッフがお待ちしています。（※作製講習会のみ事前予約が必要です）

* 連絡窓口：大崎市民病院 地域医療連携室 がんサロン TEL 0229-23-3311 *